

教頭席から

「3つの柱を振り返る」

教頭 小林 大二

ご存知のとおり本校教育は「学びの創造」、「自己指導能力の醸成」、「家庭・地域との協働」の3つを最重点課題＝柱としております。これに沿って今年1年間を振り返ってみました。「学びの創造」の根幹として、昨年度に引き続きアクティブラーニングの視点に立った授業改善を目指して、保護者への公開授業、教員相互の授業観察などを実施されました。また、各種検定や大学進学に向けた課外授業・土曜日の「学びの時間」、宿泊学習会、面接・小論文指導といった学習補強も効果的に実施してきました。本年度3年生の最終進路状況はまだ出ておりませんが、これらの取組の結果として、特に、普通科ではおよそ5人に1人の比率で国公立大学の合格者を出すことができそうです。

次に、「自己指導能力の醸成」についてです。普段の学校生活や学園祭、防災訓練などHRや学校行事にお

いて、基本的な生活習慣を確立させ、災害や交通事故に遭ったときなど危機にあたっての自己の行動を考えさせる取り組みを本年度も行ってきました。特に、本年度は北杜警察署管内の「自転車安全推進校」の指定を受け、交通安全への意識を高めてきました。SNSを利用するときの注意など時代に対応した取り組みも行ってあります。

「家庭・地域との協働」については、PTAの協力により本年度も、学園祭、フェスタ、強歩大会、フードバンクへの協力など生徒とPTA会員の協働が行われ、その教育的効果を各行事において感じているところです。本校教育の具体的な取り組みについては、この広報誌「杜をわたる風」以外でも、学校HPのブログの欄に掲載しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。



北杜高校通信

平成31年3月1日

第49号

杜をわたる風



進路結果の紹介

昨年9月の就職採用試験に始まり、進学の推薦入試・AO入試も12月上旬には結果が出ました。12月末時点での合格件数は表のとおりです。

		総合学科	普通科	計
四年制大学	推薦	7	29	36
	AO	2	7	9
短期大学	推薦	9	5	14
	AO	2	0	2
専門学校	推薦	28	11	39
	AO	25	3	28
進学計		73	55	128
就職	企業	32	1	33
	公務員	3	1	4
就職計		35	3	37

就職では、昨年に続いて県内求人件数は150件以上となり、就職希望者の内定率は100%になりました。また、公務員では山梨県職員（農業土木）に総合学科から1人合格しています。

進学では、昨年と比べると推薦入試・AO入試の出願数やや減少し、一般入試で挑戦する生徒が多くなっています。推薦入試・AO入試の合格率は、国公立四年制大学46%、私立四年制大学91%、短期大学100%、専門学校98%となっています。国公立大学では、県内の山梨大学・山梨県立大学・都留文科大学に11人、県外の公立大学に4人と、15人の合格者が出ました。平成22年度以来の国公立大学合格者15人を達成しました。そして大学入試センター試験（1月19日・20日）では95人が山梨大学・山梨学院大学・山梨英和大学の3会場で挑戦し、受験も後半戦に入っています。

具体的な学校名や企業名は、3月下旬ごろにホームページ上に掲載する予定です。

（進路指導主事 市川久）

ルーカス先生紹介

昨年9月に本校に赴任したルーカス Lukas Shadair 先生を紹介します。ルーカスはAmerica Seattleシアトル出身で、ペルーでペルーの歴史を学んだ後、日本に来ました。

Q1. Why did you come to Japan?

自分の快適な環境から離れ、違った場所に移りたかった。日本のことは知っていたので経験してみたかった。

Q2.. What were you surprised at in HOKUTO compared to American High school?

山梨がとても美しいところでびっくりした。高校に違いはないです。

Q3. What will you do in Japan?

部活動に参加したい。日本の伝統的な活動がいいな。（剣道や茶道etc.）プライベートではボクシングを始めた。甲府の街を歩いたり、山梨をドライブしたり楽しんでいる。

Q4. Messages to you

この地域の・学校の皆さんが快く受け入れてくれたことに感謝している。英語で話しかけて部活にも誘ってね！丁寧に答えてくれるよ(^^)／



〈編集後記〉

もうすぐ卒業式。1、2年生は先輩の背中を見て、バトンを繋いで下さい。（MO）

校訓
古教創真

山梨県立北杜高等学校 TEL:0551-20-4025

ホームページはここから

アドレス <http://www.hokutoh.kai.ed.jp/>

スキー・山岳部

3年 長嶺 武

勝つためにトレーニングをするのは当たり前。そのトレーニングを人よりどれだけ良いものにするか。また人一倍、二倍トレーニングをすることを意識し、夏を過ごした。昨年度7冠を達成したプレッシャーもあったが、今年は昨年より体力もあり、ベストタイムで2連覇できた。明治大学に進学し、山岳部で活動するようになったら、スキーをすることは難しくなるけれど、スキーで得た気持ちや冬山とのつきあい方を生かし頑張っていきたい。

〈出場〉札幌国体 全国高等学校選抜 秋田インターハイ 群馬関東大会

顧問 小野 勝仁

我々スキー部はスーパーポジティブシンキングをモットーに活動しています。ハードな練習も、悪天候も、苦しいときも全てを受け入れ何事もプラスに考えるようにしています。それもあって、今回県総体3連覇を達成することができました。また、2月4日からの秋田インターハイでは山梨県勢初の100位以内である76位に入ることができました。これは選手の頑張りもありましたが、支えて下さった方々のおかげでもあります。応援ありがとうございました。

高校生活でチャレンジし続けた二人の卒業生を紹介します！

ホストファミリーと ⇒

一人目は総合学科3年3組 北村香梨さんです。(写真右)上条中学校から、英語の授業をたくさん受講しようと本校総合学科国際文化系列に入学しました。在学中に英検2級を取得し、さらに勉強を続けたいと語学系専門学校へ進学予定。

英語スピーチコンテスト
学校芸術文化祭
教育研究会 山梨県高



卒業時には成績優秀者として表彰されました。

①英語スピーチコンテスト三年連続出場

もともと英語が好きで練習を重ねてきました。積み重ねてきた努力の結果、3年時優秀賞に輝きました。今後1級まで取るという目標を持っています。



②中国への語学研修

中学3年時、英語力を試すために姉妹都市の中国四川省の交流事業に参加。本校3年時に四川省の交流事業に再び参加。中国の家庭にホームステイしました。(写真上)

今は自分で中国語の勉強もしています。滞在中、中国の人達に大変親切にもらったそうです。

将来は英語と中国語を使って仕事をし、交流から感じたことを発信していきたいという希望を持っています。

③部活動(軽音楽部)

中学の時からギター演奏する音楽好きな香梨さん。軽音楽部でバンド活動をし副部長も務めました。(熱唱中の様子 写真左上)

二人目は普通科(理数コース) 3年6組秋山一真さんです。

八田中出身、大学進学を目指して、お姉さん(県立大看護学部在学中)も卒業した本校理数コースに入学しました。バイク、電車を乗り継ぎ登校しています。



①学校行事への取り組み

理数コースはクラスの入替えが少なく団結力のあるクラスだったので学校

行事に全員全力で取り組んできました。特に今年度の学園祭の演劇は自分たちで仕上げた「いじめ」の脚本で勝負した自信作でした。脚本賞も取りました。

③大学進学

ロボットが好きで、電子回路について勉強したい希望があり、推薦入試で山梨大学工学部電気・電子学科を受験。先生方や友人の励まお陰で無事合格しまし



②美術部で活動
入学後は中学時から続けていた陸上部に入学しましたが、記録が伸び悩み、学業との両立を考え悩んだ末、絵を描くことも好きなので美術部に入り、部長を務めました。

←リゾナーレ花の回廊作りに参加

た。

震災を経験して人の役に立つ物作りをしていきたい希望がある。将来は通信技術の開発やロボット作りに携わりたいと思っています。

④担任(白倉先生)評

6組へのクラス愛を誰よりも持っている生徒で、何事も他の生徒の模範となるような頑張りや3年間継続して見せてくれました。志望校合格後も勉強を続け、



スケート部

山梨県高等学校総体男女学校対抗優勝

3年浅川 悟

12月7日から8日にかけて行われた山梨県高等学校総合体育大会に出場し男女学校対抗優勝をすることができました。今年から部員も増え、顧問も変わり大幅に練習内容も変わりました。夏場のトレーニングでは、自転車を使ったトレーニングを行い、肺機能を高め、疲れづらい体作りをしました。その結果レースでは、昨年より大幅にタイムが伸び、納得する人や表彰台に立つ人が多くいました。今大会の結果を自信に繋げ、全国大会でも活躍できるチームになりたいです。

入賞選手紹介



ウエイトリフティング部

関東選抜について

2年 小池 凌

今回の関東選抜大会は二位という結果でした。関東選抜大会前の合宿で怪我をしてしまいベストコンディションで臨むことは出来なかったけど、最低限の結果を残す事ができたのは自分にとって大きな収穫でした。三月に行われる全国選抜大会では五番以内に入れるようにしっかりと調整して、ベストを尽くして戦いたいと思います。そして日々の感謝の気持ちを忘れずに全国の舞台で堂々と試技をしてきたいとおもいます。

企業と北杜生のコラボ商品

「山梨県北杜市における『食と農』を活かした住み続けられるまちづくり推進プロジェクト」とは、山梨県立北杜高等学校、山梨県北杜市、独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部が連携し、高校生と市内事業者による魅力ある地域資源を活かした共同商品の開発、同商品の都内プロモーション・地元常設販売を行っています。



また、本プロジェクトは、次世代を担う高校生に、地域の素晴らしさを再認識してもらい、住み続けられるまちづくりなどにつなげる、SDGsの開発目標を視野に入れた取り組みでもあります。

北杜高校生がプロジェクトへ込めた思いは、「食杜北杜」のコンセプトの下、北杜市に関する食べたい!! 観たい!! 住みたい!! をキーワードに市内10事業者との商品開発することが

でき発揮することができました。商品開発を通じて、北杜市の魅力を詰め込む事ができたと思います。この開発した商品を食べてもらい北杜市の魅力を味わってもらいたいです。

北杜市長と中小機構と宮下校長 さらに、今回のプロジェクトでは、私たちが考えた「秘密の北杜」という冊子も作成しました。高校生ならではの北杜市の魅力を詰め込んだ一冊です。この冊子がきっかけとなり、北杜市へ訪れる人たちが増えることを願っています。

ぜひ一度手に取って食べてみてください!

食べてね!!



協力企業:

- 金精軒製菓株式会社「星見里チーズフィナンシェ」
- 手作り和・洋菓子『秋月』「桜と花豆のマカロン」
- 白州屋まめ吉株式会社「ソイココナッツヨーグルト」
- (有)久保酒店「つちのね IRODORI ミックスジュース」
- 御菓子司久月堂「フルベゼの夜空」
- (有)横内製麺「カップほうとう」
- (有)農業法人清里ジャム「ツルンと白プリン」
- (株)関東食品工業「ナガくね?北杜スペシャル」

緑化活動の表彰

今年度、生物資源系列草花部門が例年行っている日野春駅緑化活動にJR.東日本より感謝状をいただきました。北杜高校は日野春駅を利用する生徒が多く、感謝の気持ちで学校で栽培した草花を使って季節に合わせ寄せ植えを行っています。

(3年 野田明緒依)

